

令和4年度事業報告について

令和4年度事業報告

1 全体的事項

令和4年度は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、穏やかな持ち直しが見られた一方で、世界的なエネルギー・食糧価格の高騰や欧米各国の金融引き締め等による世界的な景気後退懸念など、国内経済を取り巻く環境は厳しさを増しました。国は、こうした景気の下振れリスクに対し、「物価高騰・円安への対応」、「構造的な賃上げ」、「成長のための投資と改革」を重点分野とする「物価克服・経済再生実現のための総合経済対策」を策定し取り組んできました。

新型コロナの変異株が世界中で発生し、国内において6月までは徐々に減少に転じていた新規陽性者数が8月と12月に再び増加し、12月には第8波が始まり厳しい感染状況となりました。長野県においても同居人間や学校・職場など様々な場面で感染が広がり、全ての圏域について感染警戒レベルは下がる様子は見られず、国内の社会経済活動は引き続き抑制を余儀なくされました。

シルバー人材センターの仕事においても大きな影響を受けながら対応をしてきましたが、年が明け、感染者数は徐々に減少し、感染警戒レベルも3月に入り小康期となりました。

社会生活の長期的な展望においては、少子高齢化は常に進展し、生産年齢人口が減少する一方で高齢者の増加は一層進み、労働参加率も増加をしています。

高齢化の進行とともに労働力人口が減少する中において、シルバー人材センターには人手不足分野や現役世代を支える分野、行政と連携した地域課題を支える分野などでの役割が求められています。

このような中で、令和4年度上田地域シルバー人材センターは、会員への就業機会の提供、会員拡大、高齢者の社会参加というシルバー人材センター本来の目的のため、

- ① 会員拡大に向けた積極的な広報活動や勧誘活動
 - ② 地域住民や関係団体との連携による就業開拓活動や地域の高齢者の手が必要とされる分野の開拓
 - ③ シルバー就業の適正就業の徹底と派遣事業への取組強化
 - ④ 事故防止策及び安全体制の徹底と会員一人ひとりの安全意識の向上
 - ⑤ 信頼されるシルバー人材センターを目指した技能講習や研修活動等の強化
- の5項目を基本目標として定め、中期基本計画に盛り込まれた取組に従い事業展開を進めるため、新型コロナの影響化でも、できることに取り組んできました。

令和4年度の最優先課題として取り組んできました会員拡大については、会員が減少傾向にあるなかで、年度当初の会員数1,929人に対し、年度末の会員は1,903人であり、結果として前年度末実績を下回ることとなりました。会員拡大とともに退会を抑制することも大切であり、退会理由の一番となっている「本人の病気」にならないよう健康推進活動を進め、会員拡大に向けては、今後も継続した会員勧誘活動やシルバー事業への理解、関心を一層高める取組が必要となっています。

受注状況では、公共については、引続き数々のイベント関係が中止となり、全体的にも仕事が減少しました。また、企業活動は少しずつ再開されつつも、円安や物価の高騰、サプライチェーンの混乱などにより、事業活動に差が出ている状況です。一方、一般家庭については、除草・剪定・伐採作業などの依頼はあるものの、技術を持つ会員が減少しており、手配がつかないなど受注が難しくなってきました。

適正就業の観点から切り替えを進めている派遣事業では、就業先となる事業部所数は固定された傾向にある中で、社会経済の影響で就業先の数は変動を受けやすくなっています。また、インボイス制度の施行に合わせて、請負から派遣への切り替えや新たな就業開拓をしていく必要があります。

地域でのシルバー活動の起点となる班会活動については、新型コロナの影響によってできる範囲での活動となりましたが、集まり、活動できない分は一人ひとりの力による、「一人一新規就業開拓」、「一人一会員拡大」に取り組みました。

総務部門をはじめ、就業促進、安全適正就業、広報活動については各専門委員会の活動報告のとおり、コロナ禍の厳しい状況においてもそれぞれにおいて上田地域シルバー人材センターの健全な発展と活性化に努めました。

高齢者の社会参加が地域の課題となっている中で、コロナ禍においても上田地域シルバー人材センターの事業に終始ご理解とご支援をいただきました国や県、関係市町村、関係機関、団体及び地域住民の皆様に厚くお礼を申し上げます。

2 各専門委員会の活動

(1) 総務委員会

令和4年度は、中期基本計画（第3次）の初年度にあたり、重点的に取り組む事項について、各専門委員会との調整を図りながら取り組んできました。

長引くコロナ禍において、活動の制限を余儀なくされてしまいましたが、最大の目標である会員拡大については、特定費用準備資金を活用した「会員拡大特別対策事業」として、行政関係を重点的に公用封筒や生活ガイドブック、市町村広報誌、地元メディアでは、新聞広告、タウン情報誌、イベントグッズなど、情報発信を一層充実させてシルバー事業への理解と関心の啓発、会員の勧誘に取り組みました。計画していた

各種行事や講習会についてもできる範囲で実施し、会員の交流にも努めました。地域イベントでは、対面でのPR活動も限られてしまいましたが、前向きに取り組み、地域に向けてシルバー事業への理解と関心を高めることができました。

全体班長会については、新型コロナの感染防止対策として広い会場を確保し、年度当初に開催し、班の役割と活動について及び中期基本計画に基づくシルバー事業の推進について説明をし、取り組みました。

新型コロナの感染拡大により、久しく開催されなかった会員懇談会については、1月に入って、上田圏域の感染警戒レベルは4と下がり、医療非常事態宣言も解除されたため、会員の安全、安心、健康を守ることを最優先とし、時間短縮に努め、6個所で開催し、事業の中間報告と委員会の活動報告を行い、会員拡大と事故の防止について情報を共有しました。

ア 指定管理施設の運営

上田市から指定管理者として管理運営を受託している2つのマレットゴルフ場については、新型コロナの影響で利用者の数は減少したものの、塩田の郷マレットゴルフ場については、11月末の営業終了を12月11日まで延長し、多くの愛好家にご利用いただきました。

また、塩田の郷マレットゴルフ場は、上田市からの指定管理者の指定を受けて16年目、天下山マレットゴルフ場も12年目の施設管理と運営することができました。

両施設とも会員はじめ、多くの皆さんのボランティア活動に支えていただく中で、美しい芝のコース整備と利用者の満足度の向上に努めることができました。

イ 派遣会員の労働衛生への取組

労働安全衛生法に従い、衛生管理規程により衛生委員会の設置と産業医を選任して、毎月衛生委員会を開催し、会員の安全と健康確保対策に取り組みました。派遣会員は、法律の規定により一年に1回、健康診断を受けていただく必要があることから、市町村が行っている特定健診への受診の呼びかけと義務づけされているストレスチェックを実施しました。

(2) 就業促進委員会

令和4年度は、ウイズコロナの下で社会経済の再開と継続が図られ少しずつ通常の社会生活が戻ってくることを想定する中で、会員拡大を最優先重要課題、就業拡大を重要課題として、地域の行政、企業等のイベントに参加し、シルバーの活動や取り組みを発信するとともに、行政、企業と連携した新たな活動を検討することとして、新型コロナが発生する前の令和元年度の実績に回復することを目標として積極的に取り組んでいくこととしていましたが、今年度も新型コロナの変異株の感染拡大により予定していた活動が制約された1年でした。

しかしながら、開催されたイベントへは積極的に参加するとともに、入会説明会の回数を増やすことや個別対応を行うなどの取り組みの実施、また、行政窓口での情報発信、新聞及び行政の広報誌や各種冊子へのPRチラシの掲載、就業促進委員による会員募集ポスターの掲示、企業訪問等を実施し会員拡大、就業拡大に取り組んできました。

ア 就業実績

令和4年度の状況は、新型コロナの影響により活動が制限された一年でしたが、請負事業と派遣事業を合わせた3月末実績は受注件数で19,286件と前年比100.7%で133件の増加、契約金額では1,091,099千円で前年比100.6%、6,094千円の増加となり令和3年度を上回る実績となりました。

請負事業の3月末実績金額は962,358千円となり前年比101.4%で13,534千円の増加となりました。発注先別の実績金額は前年比では公共が96.5%、民間企業が103.0%、一般家庭が103.7%でした。公共関係については、イベント中止や新型コロナのワクチン接種の駐車場整理、施設の草刈り等の作業が減少したことにより前年度実績を下回ってしまいましたが、民間企業、一般家庭については前年度実績より上回る結果でした。しかしながら、剪定、草刈り、草取りなどの外仕事を行う会員の減少によって仕事の依頼はきても対応できないため謝絶する案件も発生していました。

派遣事業については、新型コロナの感染拡大、ウクライナ侵攻等による部品の調達遅れなどにより派遣の解消や就業日数が減少した事業所があり実績は減少し、3月末実績は128,741千円となり、前年比94.5%、7,440千円の減少でした。

イ 会員拡大・就業拡大の取組

国の政策による65歳定年退職の定着化、また、事業主に対し70歳までの就業機会を確保する努力義務が設けられたことや新型コロナの影響で一部のイベントが中止となり会員募集・就業拡大のチラシ配布等の活動が制限され会員獲得が大変難しくなっている状況下でしたが、開催されたイベントではシルバーの活動を紹介し会員募集・就業拡大の取り組みを行ないました。また、行政窓口での情報の発信、新聞及び行政の広報誌や各種冊子へのPRチラシの掲載を行うとともに、就業促進委員による会員募集ポスターの掲示活動を実施し、公共施設、商店、企業、金融機関、街頭等に掲示いただき会員拡大のPR及び企業訪問を実施し就業拡大に取り組みました。

入会説明会につきましては、新型コロナの感染防止対策を徹底した開催とし、説明会の回数を増やすことや個別対応を行うなどの取り組みを実施したことや令和2年度から始めたシルバーポイント制が有効に活用されたことから、新規入会者数は3月末で196人となり昨年度より20人増加しました。しかしながら、会員の高齢化や病気、家族の介護等による退会者が増加し、総体の会員数は1,903人となり、前年度より26人減少しました。

《会員拡大、就業拡大の具体的取組》

【企業訪問・ポスター掲示】

カレンダー配布・企業訪問	283 社
会員募集ポスター掲示枚数	130 枚

【イベント活動チラシ配布部数】

いきいきフェスティバル 2022	丸子・武石地区	縮小開催参加不可
巨峰の王国まつり	東御地区	300 部
うえだ環境フェア	上田地区	162 部
JA フェスティバル真田会場	全体行事	200 部
火のアートフェスティバル	東御地区	100 部
砥石・米山城まつり	上田第 3	縮小開催参加不可
青木産業祭	青木・上田第 4	中止
サロン市（北御牧公民館）	東御地区	150 部
上小しんりん祭	全体行事	中止

【相談会開催】

女性班全体集会	全体行事	14 人
---------	------	------

ウ シルバーポイント制の実施

就業促進委員会では、総会・班会・講習会・ボランティア等のシルバー催事への参加や会員拡大・就業拡大への意識の向上を図るべく、令和 2 年度よりポイント制を導入し取り組んできました。

令和 4 年度は、地域貢献活動を重視したボランティアへの出席のポイントをアップする等の付与の要件と特典の見直しを行いました。

本年度も新型コロナの影響はありましたが、ウイズコロナの下、各種活動を実施してきたことにより前年度より景品の交換は大幅に増え、3 月末の件数は 423 件で前年より 241 件の増加、金額も 132,500 円の増加となりました。会員の皆様にポイント制が周知され、各種活動への参加、新規会員の獲得・新規就業先の開拓に積極的に取り組んでいただいた成果が出てきました。

【ポイント付与催事等】

総会へ出席	1 ポイント	きずな総会へ出席	1 ポイント
安全講習会へ出席	2 ポイント	新規会員紹介（1 人）	5 ポイント
懇談会へ出席	1 ポイント	新規就業開拓（1 ヶ所）	3 ポイント
班会へ出席	2 ポイント	夫婦会員（毎年）	2 ポイント
ボランティアへ出席	3 ポイント	班長（毎年）	2 ポイント
		各委員会 委員（毎年）	2 ポイント

【地区別景品獲得数】

地区	上田・青木 地区	丸子・武石 地区	東御地区	真田地区	長和地区	合計
6ポイントで景品獲得	72	119	87	10	56	344
12ポイントで景品獲得	22	19	7	1	17	66
20ポイントで景品獲得	2	1	0	0	9	12
30ポイントで景品獲得	0	1	0	0	1	1
40ポイントで景品獲得	0	0	0	0	0	0
地区合計	96	139	94	11	83	423

エ 各種講習会の開催

会員等の技能や技術の習得を目的に、県連合会が実施している高齢者活躍人材確保育成事業や当センター独自の講習会については、新型コロナウイルスの感染防止対策を取りながら開催しました。

① 高齢者活躍人材確保育成事業（厚生労働省から県連合会への委託事業）

地域における人手不足分野や現役世代を支える分野での高齢者の就業を促進するため、広報活動、就業体験、技能講習などを通じてシルバー人材センターに対する理解を深めてもらう事業を実施しました。

【技能講習】

講習名	講習期間	講習日数	参加者数
庭木・庭園管理講習	6月13日～17日	内4日	11
1講座 合計			11人

【就業体験】

体験就業名	開催日	参加者数
ブドウ収穫体験	9月16日	11
1事業 合計		11人

【講座&講習会】

講習名	講習期間	参加者数
シニア世代のライフプラン講座	11月18日	22
1講座 合計		22人

② 独自技能講習・レベルアップ講習

剪定技術や駐車場整理など技能の習得に時間のかかるものや国補助事業の対象とならない技能講習を独自講習として実施しています。

講習名	講習期間	講習日数	参加者数
スマホ講習会	4月18日	0.5日	11
スマホ講習会	4月22日	0.5日	13
スマホ講習会	4月26日	0.5日	4
スマホ講習会	5月31日	0.5日	4
派遣会員 高齢運転者講習	6月18日	1日	8
スマホ講習会	6月28日	0.5日	4
網戸張替講習会	7月27日	1日	8
派遣会員 高齢運転者講習	10月29日	1日	8
おそうじ講習会	11月10日	1日	12
駐車場整理講習	12月9日	1日	9
掃除講習会	2月8日	1日	15
松剪定講習	3月8日	1日	18
スマホ講習会	3月9日	0.5日	15
13 講座 合計			129 人

オ 派遣事業

派遣では一部業種ではありますが、就業時間の緩和の許可により、最長40時間(運用は30時間)までの就業が可能となっています。そのため、製造業などでの長時間就業にも対応できるようになり、企業の要望に応えることができるようになりました。しかし、令和4年度も新型コロナウイルスのワクチン接種は進んだものの、変異株の発生により収まりを見せず厳しい状況が続いています。

3月末では、71事業部所で144人の会員が就業していますが、4月から3月までの就業延人員は昨年同期と比較し、95.6%で22,740人でした。

派遣を依頼する企業が一定程度固定化された中で、物価高や円安などの影響を受けて減少した数の新たな派遣先を開拓していくことが必要となっています。

カ 介護予防・日常生活支援総合事業

平成28年度から委託事業として取り組んできた介護予防・日常生活支援総合事業については、29年4月に上田市から事業所指定を受け、東御支所でも平成28年11月から東御市地域包括介護支援センターからの委託事業として取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け減少となり、上田地域は、3月末までの

訪問件数は 213 件、受託件数は掃除洗濯、調理など延べ 986 件となっています。

就業会員は 8 人、契約金額は 1,548 千円となっています。

東御地域の 3 月末までの実績は訪問件数 131 件、就業会員は 6 人、受注額は 245 千円となっています。

キ 観光ガイド事業

新型コロナの感染状況が落ち着きを見せ始め、少しずつ依頼が増えていましたが、7 月以降に感染が拡大し減少傾向に向かいました。

全国旅行支援等の措置が取られる中、感染防止対策とセットで行動制限までは行われなかったため、少人数の個人のお客様や隣県からの修学旅行の学校の受け入れを中心に活動しました。

ク 独自事業

女性班「きずな」丸子支部手芸班は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動に至りませんでした。10 周年記念講演会での上田支部リフォーム班の販売、東御支部リフォーム班の手づくりマスク、エコバックの販売、JAいずみの里などでの刃物研ぎなど、シルバー人材センターとしてできる範囲で独自事業に取り組みました。わら細工班による注連飾りは 4 月から 12 月の間、準備、作製、販売をしています。

【販売実績】

上田支部リフォーム班	37 千円
丸子支部手芸班	0 円
東御支部リフォーム班	13 千円
刃物研ぎ（上田地区）	287 千円
わら細工班（真田地区）	4,834 千円

ケ 令和 4 年度ボランティア活動

各ブロック、支所及び女性班の活動として、公共施設の美化活動等を実施したほか、上田城跡公園の観光ボランティアガイドも実施しました。

地区名	月 日	場 所	作業内容	参加者数
上田第 1	12 月 8 日	上田城跡公園	落葉と ごみ清掃	28
上田第 2	12 月 8 日	長池公園	落葉と ごみ清掃	35
上田第 3	10 月 21 日	信濃国分寺公園	除草・草刈	36

上田第4 青木地区	7月30日	青木村役場	除草・草刈	15
	3月29日	塩田の郷マレットゴルフ場	落葉清掃	53
丸子・武石 地区	11月10日	ベルパーク	除草・草刈	38
	11月13日	武石ともしび博物館	除草・草刈	21
東御地区	7月1日	東御市北御牧庁舎	除草・草刈	13
	9月10日	東御市福祉センター周辺	除草・草刈	22
真田地区	-	-	-	中止
長和地区	6月14日	福井記念公園(長門) 和田宿ステーション付近 (和田)	除草・草刈	26
きずな (上田・青木)	6月30日	上田市指定文化財 倉沢家	除草・草刈	24
観光ガイド班	4月～ 12月末日	上田城跡公園	観光案内	41
合計				352人

(3)安全適正就業委員会

令和4年度は、昨年度に引き続き、新型コロナの影響により、草刈り講習会、健康講座、新入会員安全講習会の開催は見送りましたが、会員の安全・安心の意識向上に努め、安全就業・交通安全講習会については、感染防止対策を取り実施することができました。

事故防止のための安全パトロールや石が飛びにくい替刃の斡旋などを進めましたが、事故は一向に減少しません。また、賠償事故の増加が全国的にも課題となっていることから、この事態を重く受け止め、「賠償事故に関わる検討委員会」を組織して、事故が起こった原因や対策について話し合いを行い、打合せや作業の内容を記録していくことに重点を置いた新たな野外作業チェックシートを作成し、必ず就業報告書と一緒に提出することを決定しました。

ア 事故状況・事故防止について

令和4年度の事故発生件数は、20件で、昨年度と比べて3件の減少となりました。このうち、賠償事故が15件、会員が受傷するなどの傷害事故が5件でした。

賠償事故のほとんどは草刈り作業での飛び石事故であり、不注意や慢心に加え、防護ネット不使用によるものであったため、危険予知を含めた点検と対策をしっかりと行うリスク管理や防護ネットの使用などを徹底していくことを再確認しました。

傷害事故においても常に安全に気を配り、無理、無茶を避け、気を緩めることなく作業を進めていくリスク管理をしていくことが大切です。

体力や感覚が昔とは違うという自覚を持ち、心の中で確認する時間を持ちましょう。

令和4年度に発生した事故は別表のとおりです。自分だけは大丈夫という思い込みは捨て、個々の事例を確認することで事故防止の行動につなげていきます。

【賠償事故】

就業内容	事故概要	損害状況
伐採作業	伐採中に倒す方向を誤り、建物の屋根と棟木を破損	屋根と棟木破損
草刈り作業	道路脇作業中、飛び石により通行車両のガラスを破損	助手席ガラス破損
草刈り作業	置忘れのレーキを近隣者の車が踏み、パンクと車体の損傷	フェンダーの損傷
草刈り作業	トランクグリッド上の草をほうきで払い車体に傷がついた	車体に傷
草刈り作業	つる草が絡まっていることを確認せず、一緒にケーブル切断	ケーブル切断
草刈り作業	敷地内の作業中、飛び石にて駐車車両のガラス破損	フロントガラス破損
草刈り作業	敷地地内の作業中、飛び石にて隣家の窓ガラス破損	家の窓ガラス破損
草刈り作業	道路から1m高さで作業中、通過した車両のガラス破損	リアガラス破損
草刈り作業	駐車車両を背に作業中、4m離れた当該車両のガラス破損	後部右ガラス破損
草刈り作業	砂利の駐車場で唯一移動されなかった車両のガラス破損	助手席ガラス破損
草刈り作業	飛び石にて道路を挟んだ隣地の駐車車両のガラス破損	リアガラス破損
草刈り作業	防護ネットが間に合わず、飛び石で駐車車両のガラスを破損	リアガラス破損
広報梱包	台車で運搬中によるけ、玄関ガラスに接触し破損	玄関ガラス破損
剪定作業	大事に育てていた松を自己判断で切断。(伐採の依頼なし)	松の消失
伐採作業	切り離れた枝が落ち、下にあった花壇のブロックが破損	ブロック破損

【傷害事故】

剪定・伐採	漆と知らずに伐採し、両腕、腹部、大腿部に樹液が飛散	皮膚のかぶれ
検針作業	巣は確認できなかったが、蜂に左手と脇腹付近を刺される。	蜂刺され症
通勤途中	駐車場から車道に出るため停車中に後ろの車両が追突	左肘の打撲
剪定作業	脚立の最後の一段を踏み外し、かかとを骨折した。	右足踵骨の骨折
清掃作業	厨房にあった空き缶の切った蓋に接触し切り傷を負った。	右手甲薬指縫合

イ 安全パトロールの実施

連合会の安全・適正就業対策推進委員による安全パトロールは8月に実施され、草刈機の使用現場でしたが、点検表のチェック結果は、○の達成率が100%でした。

更に、支所単位での安全パトロールは、7月から9月にかけて実施し、実際に草刈りなどの作業現場のほか、事故発生現場での検証を行いました。

令和4年度は点検の視点を変えてみることを目的として、地区間の連携による相互チェックを実施し、ヘルメット着用の徹底、作業間の距離などが指摘されました。

地 区	個 所	個所の内訳
上田事務所	3 個所	草刈現場 1、事故検証 2
丸子支所	2 個所	草刈現場 1、事故検証 1
東御支所	1 個所	草刈現場 1
真田支所	3 個所	草刈現場 3
長和支所	2 個所	草刈現場 2

ウ 替刃「石飛番（いしとばん）」の斡旋

これまでも飛び石が起きにくい替刃を紹介し販売してきましたが、飛び石防止効果では一定の評価があり、切れ味や耐久性でも肯定的な意見が寄せられました。

これまでに紹介し、利用いただいているものに加え、同替刃の利用を促していくとともに、より飛び石が発生しにくい替刃の調査を行っていきます。

【飛び石軽減刃の販売状況】

刈払機の刃（品 名）	枚 数
草刈王	837
隼	21
石飛番	117
プロテック	2

エ 安全標語の募集

「元気と笑顔と気配りで 今日も一日 安全作業」

安全標語の募集には、29 人から 52 作品の応募がありました。

安全適正就業委員会での審査において、大久保善司さんの作品「元気と笑顔と気配りで 今日も一日 安全作業」が最優秀賞に選ばれました。

作品の全ては、長野県連合会の安全・適正就業標語に応募し、639 点の中から蓬田美枝子さんの作品「「まんねり」が 安全意識 にぶらせる」が佳作となりました。

【令和 4 年度安全標語表彰作品】

(敬称略)

受 賞	氏 名	地 区	作 品
最優秀賞	大久保善司	丸子	元気と笑顔と気配りで 今日も一日 安全作業
優秀賞	長谷屋 泉	丸子	安全は あせらずあわてず 落ち着いて
優秀賞	両角 澄子	丸子	慣れた手が 何かを見落とす 落とし穴
佳作	北原 勝子	東御	見て聞いて！ 確認こそ安全の第一歩
佳作	久保田利幸	上田 2	「危険だよ ● ●」 慣れに過信に 気の緩み
佳作	蓬田美枝子	東御	「まんねり」が 安全意識 にぶらせる

(4) 広報委員会

会員への情報提供や会員同士の交流を目指して「上田地域シルバーだより」を年5回、「お知らせ版」を毎月発行しました。新型コロナウイルス感染症の影響による事業の減少等により、広報委員会で審議した結果、年7回の広報の発行を令和4年度より5回に減らすことにしました。情報の提供に支障をきたさないよう、別号でページを増やす、臨時号を発行するなどに対応することにしました。

紙面の編集にあたっては、3年ぶりに全員参加に広めて開催された定時総会、6月には女性班「きずな」発足10周年記念講演会、毎月のように各地で行われたボランティア活動取材し掲載しました。昨年に引き続き、全面カラー化と大きな文字や写真を多用し、読んでいただきやすい紙面作りに努めました。

センターの事業内容や活動を中心としてホームページの内容は随時更新するとともに、会員への就業案内メールの登録を入会時にお願いし、登録者数の拡大を図りました。それと併用してSMS（ショートメールサービス）システムの利用を開始し、緊急連絡など一斉配信しました。

【ホームページアクセス件数】

ホームページの項目	閲覧数	前年比%
トータルアクセス数	49,062	110.7
トップページ	8,877	103.7
センターのご紹介	8,194	336.0
お仕事をしたい方	7,005	320.4
お仕事を頼みたい方	8,434	246.2
活動情報	7,362	394.5
観光ガイド	5,919	371.8
その他（お知らせ一覧等）	3,281	93.9

【携帯メールサービス登録会員数】

就業案内登録	480 件
情報発信件数	112 件

(5) 女性班「きずな」

女性班の名称を「きずな」として10年目の節目に開催予定だった発足10周年記念講演会が令和3年度は新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置のため、実施できず延期になってしまいました。令和4年度において一年遅れましたが、手相芸人の島田秀平氏をお呼びして大勢の皆さんにご参加いただき盛大に実施することができました。

年度末に開催しました全体集会では、NPO 法人うえだミックススポーツクラブの荒川玲子理事長の健康を維持するための簡単な体操を交えた講演会を実施しました。

また、女性会員の知識向上のため各地区で工夫を凝らしながら、少しずつコロナ禍前に戻るようボランティア活動やフラワーアレンジメント、寄せ植え、わら細工のリース作り、縫物、おやきづくりなどの講習会を実施し、女性会員の横の繋がりを強化するように努めました。

11月に愛知県で開催された「シルボンヌ全国大会 2022 IN 愛知」の会場において女性の活動事例として、当センターの観光ガイド班の女性会員のガイド映像が流され主催者から好評価を受けました。

役員会では新年度の活動に繋げていくため会員拡大と就業開拓について様々な意見が出され、検討していくこととなりました。

(6) 氷見市シルバー人材センターとの交流

姉妹提携を締結している（公社）氷見市シルバー人材センターとは、会員互助会が主体となって、隔年交代で相互に訪問し、双方の事業内容等の研修を通して、交流を深めています。

令和4年度もコロナ禍であったことから交流を中止することとなり、再開できることを期待し、互助会だより等を相互交換しながら情報交流を行いました。